

「機能強化型訪問看護ステーションの実態と訪問看護の実施状況調査」における報告書（案） の概要

（1）調査の目的

平成26年度診療報酬改定において、在宅医療を推進するため、24時間対応、ターミナルケア、重症度の高い患者の受け入れや居宅介護支援事業所の設置等の機能の高い訪問看護ステーションの評価、及び、精神疾患患者の地域移行と定着に向けた取り組み等、さらなる在宅医療の推進と訪問看護の充実を図ることを目的とした各種の評価を行った。

これらを踏まえ、訪問看護がより一層充実したものとして実施されているかどうかについて調査を行った。

（2）調査方法及び調査の概要

① 訪問看護ステーション調査

1) 機能強化型訪問看護管理療養費の届出事業所 175 事業所（悉皆）

2) 日本精神科看護協会の会員で、主に精神科訪問看護を実施している事業所 136 事業所（悉皆、うち1)の機能強化型訪問看護管理療養費届出事業所は4事業所）

3) 前記1)、2)以外の訪問看護ステーション 1,000 事業所（無作為抽出）

の計 1,307 事業所に対し、平成26年10月に調査票を配布。

② 利用者調査

上記、訪問看護ステーション調査の利用者のうち、医療保険での訪問看護を利用している人、1事業所につき4名を調査対象とし、平成26年10月に対象事業所を通じて調査票を配布し、患者から郵送により直接回収。

（3）回収の状況

① 訪問看護ステーション 有効回答数：671 事業所（有効回答率51.3%）

② 利用者

1) 事業所記入分 有効回答数：2,104 人

2) 利用者記入分 有効回答数：1,504 人

（4）検証部会としての評価

平成26年4月の診療報酬改定内容を踏まえて、機能強化型訪問看護ステーションの実態、訪問看護の実施状況や介護保険との連携状況、訪問看護を利用する患者の状態、意識等について検証を行った。

<p>【機能強化型訪問看護管理療養費 1】</p> <p>(月の初日の訪問の場合) 12,400 円 (新)</p> <p>〔算定要件〕</p> <p>① 常勤看護職員 7 人以上 (サテライトに配置している看護職員も含む)</p> <p>② 24 時間対応体制加算の届出を行っていること。</p> <p>③ 訪問看護ターミナルケア療養費又はターミナルケア加算の算定件数が年に合計 20 件以上。</p> <p>④ 特掲診療料の施設基準等の別表第 7 に該当する利用者が月に 10 人以上。</p> <p>⑤ 指定訪問看護事業所と居宅介護支援事業所が同一敷地内に設置され、かつ、当該訪問看護事業所の介護サービス計画が必要な利用者のうち、当該居宅介護支援事業所により介護サービス計画を作成されている者が一定程度以上であること。</p> <p>⑥ 地域住民等に対する情報提供や相談、人材育成のための研修を実施していることが望ましい。</p>

<p>【機能強化型訪問看護管理療養費 2】</p> <p>(月の初日の訪問の場合) 9,400 円 (新)</p> <p>〔算定要件〕</p> <p>① 常勤看護職員 5 人以上 (サテライトに配置している看護職員も含む)</p> <p>② 24 時間対応体制加算の届出を行っていること。</p> <p>③ 訪問看護ターミナルケア療養費又はターミナルケア加算の算定件数が年に合計 15 件以上。</p> <p>④ 特掲診療料の施設基準等の別表第 7 に該当する利用者が月に 7 人以上。</p> <p>⑤ 指定訪問看護事業所と居宅介護支援事業所が同一敷地内に設置され、かつ、当該訪問看護事業所の介護サービス計画が必要な利用者のうち、当該居宅介護支援事業所により介護サービス計画を作成されている者が一定程度以上であること。</p> <p>⑥ 地域住民等に対する情報提供や相談、人材育成のための研修を実施していることが望ましい。</p>

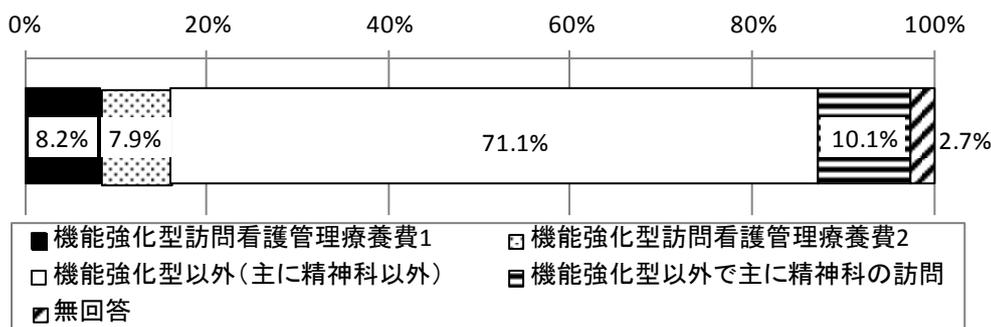
<p>【精神科重症患者早期集中支援管理連携加算】</p> <p>(月 1 回) 6,400 円 (新)</p> <p>〔施設基準〕</p> <p>① 精神科訪問看護療養費の届出を行っていること。</p> <p>② 24 時間対応体制加算の届出を行っていること。</p>

<p>【精神科複数回訪問加算】</p> <p>(1 日に 2 回) 4,500 円 (新)</p> <p>(1 日に 3 回以上) 8,000 円 (新)</p> <p>〔施設基準〕</p> <p>① 精神科訪問看護療養費の届出を行っていること。</p> <p>② 24 時間対応体制加算の届出を行っていること。</p>

① 訪問看護ステーション調査

- 「訪問看護ステーション調査」において有効回答が得られた 671 事業所の届出等の状況をみると、「機能強化型訪問看護管理療養費 1」が 8.2%、「機能強化型訪問看護管理療養費 2」が 7.9%、「機能強化型以外で主に精神科の訪問」が 10.1%であった。

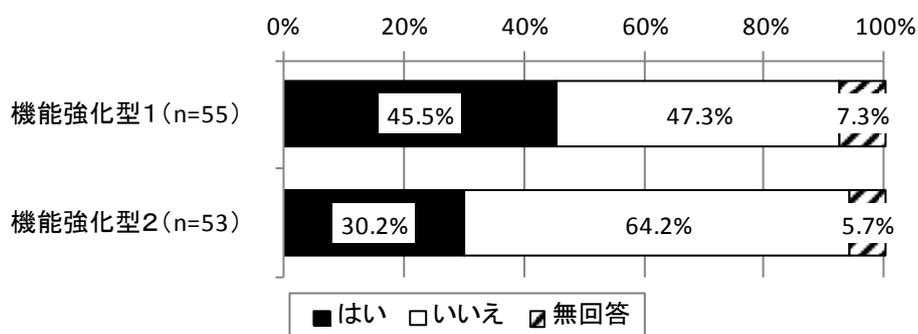
P5 図表 2 機能強化型訪問看護ステーションの届出等の状況 (n=671)



- ・「機能強化型以外 (主に精神科以外)」は、「機能強化型訪問看護管理療養費 1」「機能強化型訪問看護療養費 2」の届出がなく、かつ、「主に精神科の訪問を実施している事業所」を除く事業所である (以下、本文中では、「機能強化型以外 (主に精神科以外)」または「機能強化型以外」と表記)。
- ・「機能強化型以外で主に精神科の訪問」の事業所は、平成 26 年 9 月の利用者数のうち、精神科訪問看護基本療養費 I・Ⅲの利用者数が 50%以上の事業所である (以下、本文中では「主に精神科」と表記)。

- 機能強化型訪問看護ステーションに対して「機能強化型訪問看護ステーションの創設が事業所の大型化に寄与したか」についてたずねたところ、「機能強化型 1」では「はい」が 45.5%、「機能強化型 2」では 30.2%であった。

P11 図表 10 機能強化型訪問看護ステーションの創設が事業所の大型化に寄与したか



- 平成25年9月と平成26年9月の「常勤」の看護職員数は、「機能強化型1」ではそれぞれ平均9.5人と平均11.0人であった。「機能強化型2」ではそれぞれ平均6.5人と平均7.0人であった。「機能強化型以外」ではそれぞれ平均3.6人と平均3.8人であった。「主に精神科」ではそれぞれ平均3.9人と平均4.6人であった。いずれも常勤人数が増加しており、特に「機能強化型1」では平均で1.5人と最も多く増加した。

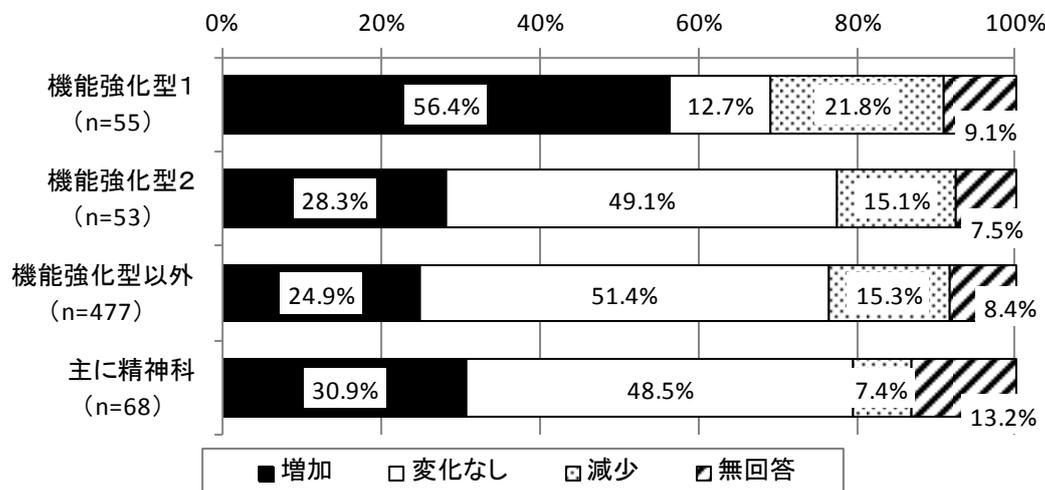
P20 図表 30 「常勤」の看護職員数(実人数)

単位：人

	平成25年9月				平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値	件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	53	9.5	4.4	9.0	51	11.0	4.1	10.0
機能強化型2	52	6.5	2.4	6.0	50	7.0	2.4	6.0
機能強化型以外	439	3.6	2.0	3.0	459	3.8	2.0	3.0
主に精神科	59	3.9	3.4	3.0	65	4.6	2.6	4.0

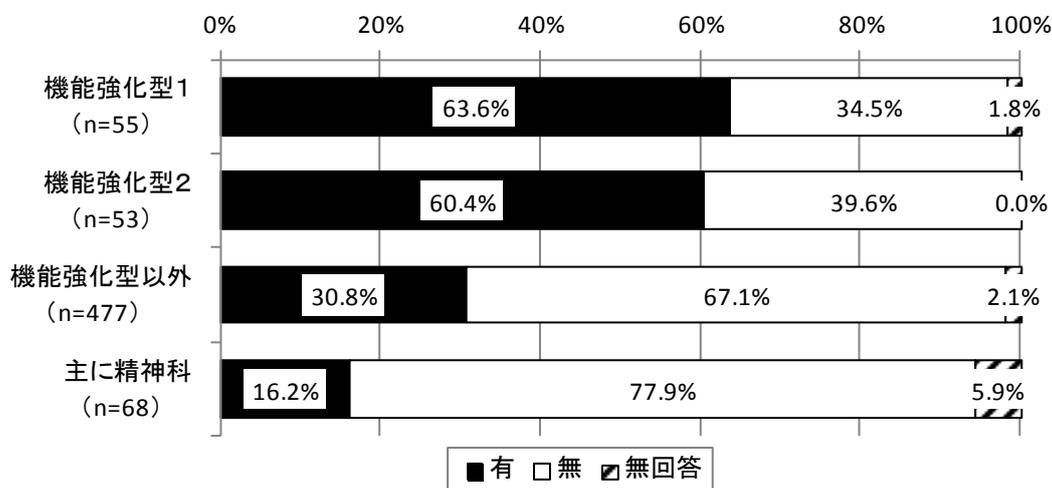
- 「常勤」の看護職員数(実人数)の増減についてみると、「機能強化型1」では「増加」が56.4%で半数を超えていた。「機能強化型2」では「変化なし」が49.1%、「機能強化型以外」では51.4%、「主に精神科」では48.5%で、「変化なし」が多かった。

P21 図表 33 「常勤」の看護職員数(実数)の増減



- 退院時共同指導加算の算定についてみると、「機能強化型1」では「有」が63.6%で、「機能強化型2」では「有」が60.4%であった。「機能強化型以外」では「有」が30.8%、「主に精神科」では「有」が16.2%と比較的低い割合であった。

P25 図表 38 退院時共同指導加算の算定の有無（平成26年9月分）



- 訪問看護利用者数についてみると、「機能強化型1」では平成25年9月が平均172.7人、平成26年9月が平均181.9人であった。「機能強化型2」では平成25年9月が平均114.3人、平成26年9月が平均118.7人であった。「機能強化型以外」では平成25年9月が平均66.3人、平成26年9月が平均67.1人であった。「主に精神科」では平成25年9月が平均76.2人、平成26年9月が平均84.1人であった。

「機能強化型1」と「主に精神科」の事業所で比較的多く増えている。

P29 図表 45 1 事業所あたり 訪問看護利用者数（全利用者数：医療保険＋介護保険）（9月1か月）

単位：人

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	49	172.7	85.0	156.0		53	181.9	85.6	168.0
機能強化型2	52	114.3	65.5	95.5		53	118.7	65.8	100.0
機能強化型以外	395	66.3	46.5	57.0		456	67.1	47.3	57.5
主に精神科	59	76.2	68.6	57.0		68	84.1	66.2	62.0

- 医療保険と介護保険合わせた訪問回数は、「機能強化型 1」では平成 25 年 9 月が平均 1,007.9 回、平成 26 年 9 月が平均 1,072.7 回であった。「機能強化型 2」では平成 25 年 9 月が平均 674.7 回、平成 26 年 9 月が平均 750.6 回であった。「機能強化型以外」では平成 25 年 9 月が平均 399.8 回、平成 26 年 9 月が平均 420.2 回であった。「主に精神科」では平成 25 年 9 月が平均 352.2 回、平成 26 年 9 月が平均 397.9 回であった。

P32 図表 51 1 事業所あたり 訪問回数

単位：回

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	48	1,007.9	450.1	908.0		52	1,072.7	442.9	1,022.0
機能強化型 2	52	674.7	332.6	613.0		52	750.6	378.6	688.0
機能強化型以外	384	399.8	297.7	332.5		448	420.2	313.2	344.0
主に精神科	59	352.2	362.0	257.0		68	397.9	296.8	301.0

- 医療保険による訪問回数についてみると、「機能強化型 1」では平成 25 年 9 月が平均 371.3 回、平成 26 年 9 月が平均 395.5 回であった。「機能強化型 2」では平成 25 年 9 月が平均 243.3 回、平成 26 年 9 月が平均 280.5 回であった。「機能強化型以外」では平成 25 年 9 月が平均 122.7 回、平成 26 年 9 月が平均 132.9 回であった。「主に精神科」では平成 25 年 9 月が平均 304.4 回、平成 26 年 9 月が平均 370.5 回であった。いずれも訪問回数が増加している。

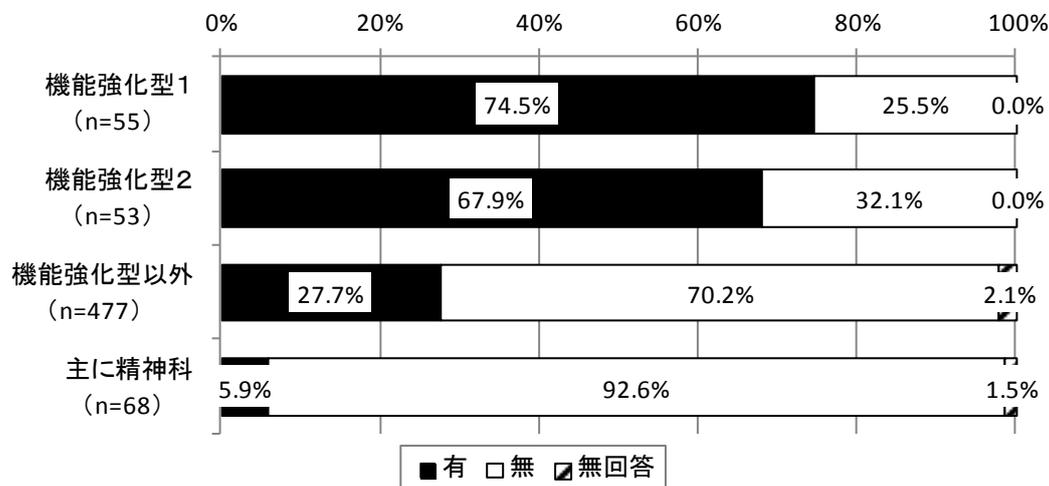
P32 図表 52 1 事業所あたり 医療保険による訪問回数

単位：回

	平成 25 年 9 月				→	平成 26 年 9 月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型 1	48	371.3	185.3	333.5		53	395.5	229.8	339.0
機能強化型 2	52	243.3	127.8	213.0		52	280.5	153.7	244.5
機能強化型以外	383	122.7	110.4	97.0		446	132.9	121.3	100.0
主に精神科	59	304.4	324.7	215.0		68	370.5	286.3	265.5

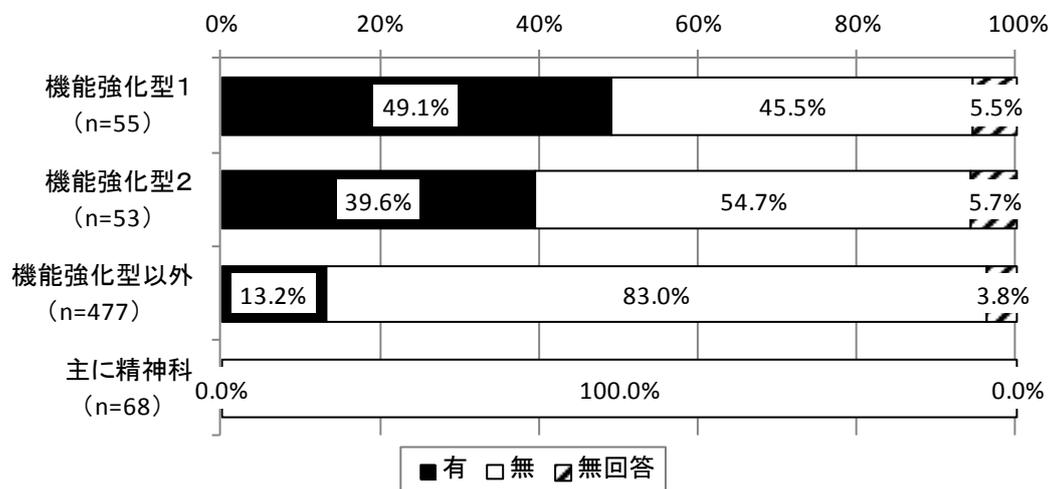
- 「0歳～15歳未満」の利用者が「有」の事業所は、「機能強化型1」では74.5%、「機能強化型2」では67.9%、「機能強化型以外」では27.7%、「主に精神科」では5.9%であった。

P35 図表 59 (再掲) 0歳～15歳未満の利用者の有無



- 超重症児の有無についてみると、「機能強化型1」では「有」が49.1%、「機能強化型2」では39.6%、「機能強化型以外」では13.2%、「主に精神科」では0.0%であった。

P37 図表 63 超重症児の有無



- 40歳以上の医療保険のみの利用者について、要介護度別利用者数をみると、「機能強化型1」では「要介護1・2・3」が平均11.1人、「要介護4」が平均4.9人、「要介護5」が平均7.1人であった。

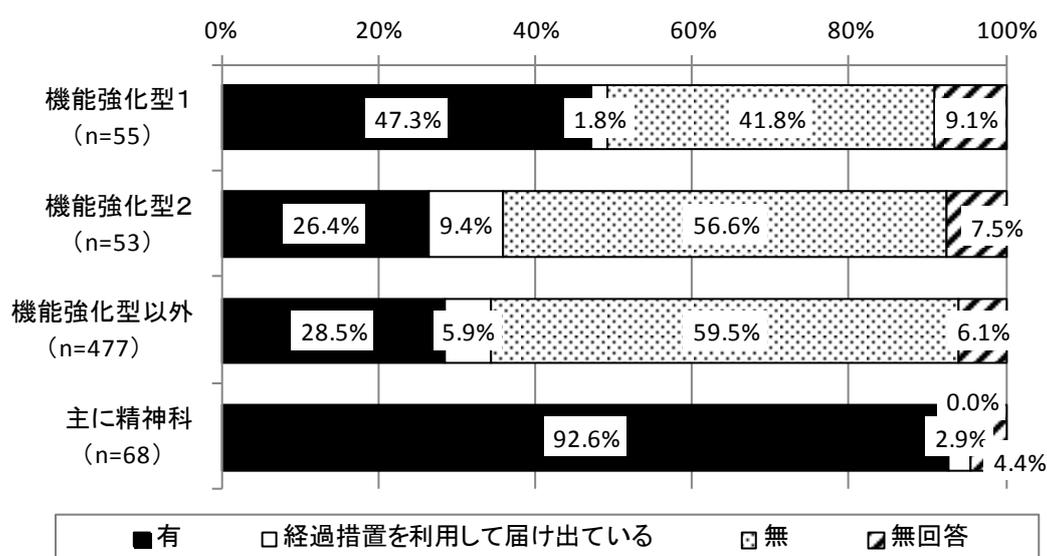
P39 図表 65 1事業所あたり 要介護度別利用者数（医療保険のみの利用者：40歳以上）

単位：人

		要支援 1・2	要介護 1・2・3	要介護4	要介護5	介護保険 対象外	申請中・自 立・未申請
機能強化型1 (n=47)	平均値	1.7	11.1	4.9	7.1	12.9	6.7
	標準偏差	2.1	8.8	4.2	6.0	15.6	10.7
	中央値	1.0	9.0	4.0	6.0	7.0	2.0
機能強化型2 (n=49)	平均値	0.6	6.1	2.8	5.4	9.2	3.1
	標準偏差	1.1	5.2	2.2	4.2	11.0	7.6
	中央値	0.0	5.0	3.0	4.0	4.0	0.0
機能強化型以外 (n=444)	平均値	0.6	3.5	1.4	2.5	3.8	1.5
	標準偏差	1.3	5.6	2.3	3.2	7.1	3.8
	中央値	0.0	2.0	1.0	2.0	2.0	0.0
主に精神科(n=58)	平均値	1.1	3.9	0.2	0.1	23.8	6.3
	標準偏差	1.9	5.5	0.5	0.4	50.6	20.4
	中央値	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0

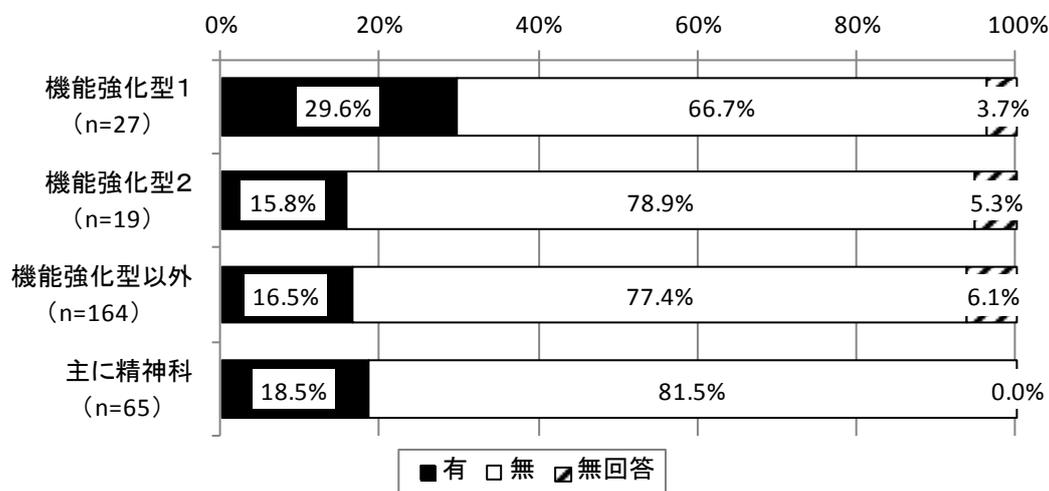
- 精神科訪問看護届出の状況についてみると、「機能強化型1」では「有」が47.3%、「機能強化型2」では26.4%、「機能強化型以外」では28.5%であった。「主に精神科」では「有」が92.6%、「経過措置を利用して届け出ている」が2.9%であった。

P52 図表 90 精神科訪問看護届出の状況



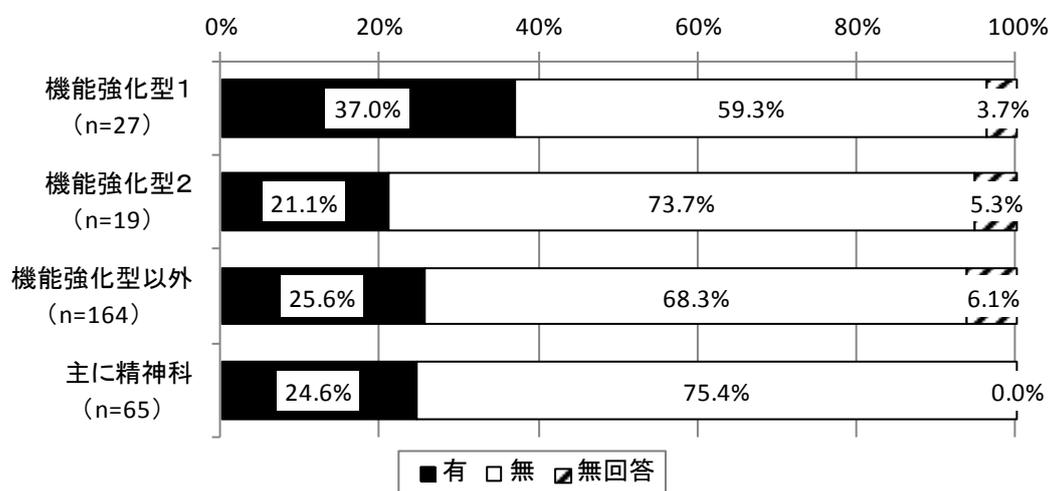
- 精神科重症患者早期集中支援管理連携加算の届出についてみると、「機能強化型1」では「有」が29.6%、「無」が66.7%であった。「機能強化型2」では「有」は15.8%、「機能強化型以外」では「有」は16.5%、「主に精神科」では「有」は18.5%であった。

P56 図表 96 精神科重症患者早期集中支援管理連携加算の届出の有無



- 精神科複数回訪問加算の届出についてみると、「有」が「機能強化型1」では37.0%、「機能強化型2」では21.1%、「機能強化型以外」では25.6%、「主に精神科」では24.6%であった。

P59 図表 99 精神科複数回訪問加算の届出の有無



- 利用者のうち、平成26年4月1日～9月30日に在宅で亡くなった、またはターミナルケア実施後24時間以内の入院で亡くなった利用者数は、「機能強化型1」では平均17.9人、「機能強化型2」では平均8.3人、「機能強化型以外」では平均3.2人、「主に精神科」では平均0.3人であった。

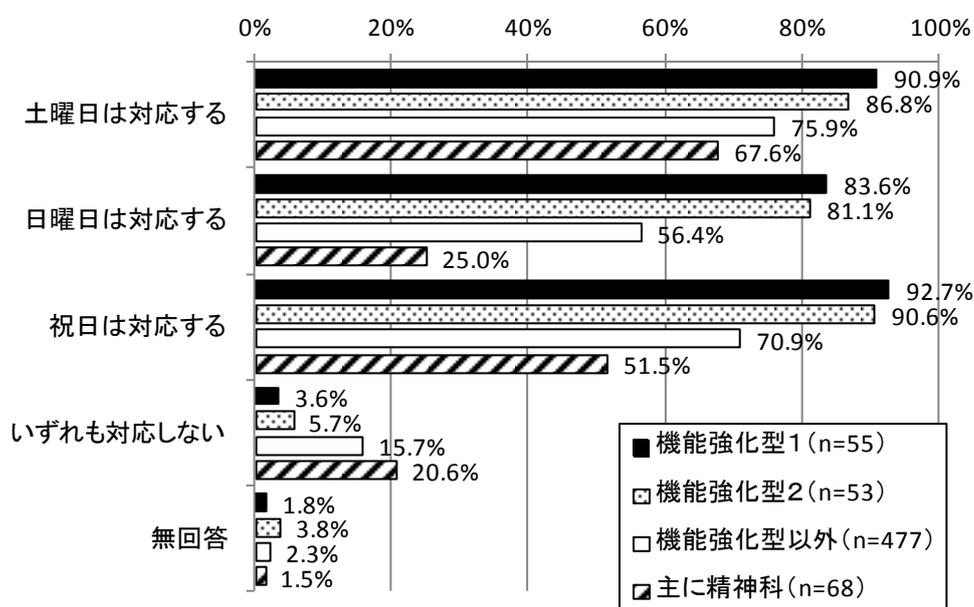
P68 図表 121 在宅死亡、またはターミナルケア実施後24時間以内の入院死亡の利用者数

単位：人

	平成25年				→	平成26年			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	50	16.7	16.3	14.5		53	17.9	20.3	13.0
機能強化型2	51	8.3	6.4	9.0		52	8.3	6.4	8.0
機能強化型以外	399	3.3	4.9	1.0		453	3.2	4.5	1.0
主に精神科	52	0.2	0.7	0.0		59	0.3	0.9	0.0

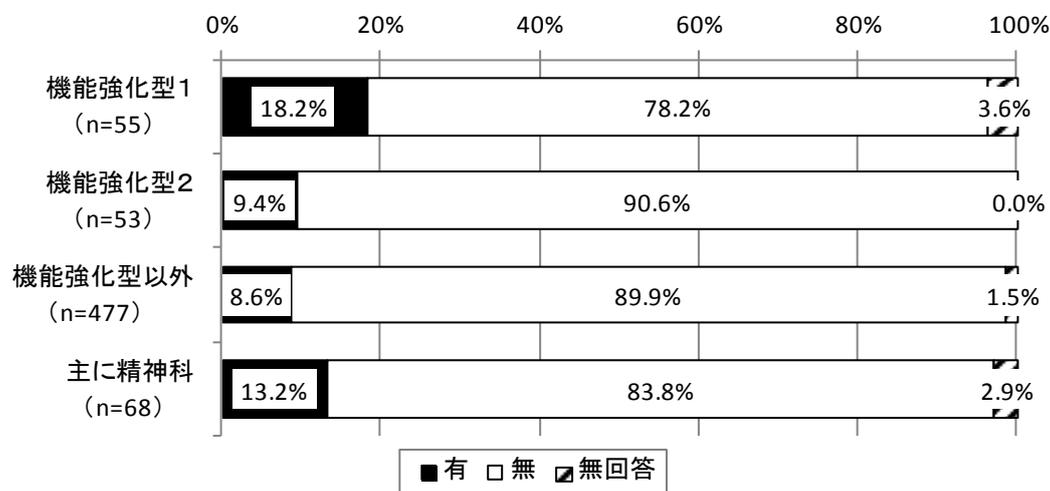
- 「土日・祝日の計画的な訪問看護の実施状況」についてみると、「機能強化型1」では「土曜日は対応する」が90.9%、「日曜日は対応する」が83.6%、「祝日は対応する」が92.7%であった。「機能強化型以外」では「土曜日は対応する」が75.9%、「日曜日は対応する」が56.4%、「祝日は対応する」が70.9%であった。「主に精神科」では「土曜日は対応する」が67.6%、「日曜日は対応する」が25.0%、「祝日は対応する」が51.5%であった。

P70 図表 127 土日・祝日の計画的な訪問看護の実施状況



- 早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の実施についてみると、平成26年9月において、「機能強化型1」では「有」が18.2%、「機能強化型2」では9.4%、「機能強化型以外」では8.6%、「主に精神科」では13.2%であった。

P74 図表 134 早朝・夜間・深夜の計画的な訪問看護の実施の有無



- 緊急訪問回数についてみると、平成26年9月において、「機能強化型1」では「夜間(18時~22時)」が平均1.9回、「深夜(22時~6時)」が平均1.7回であった。

P78 図表 142 1事業所あたり緊急訪問回数：夜間(18時~22時)

単位：回

	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	46	1.7	3.1	1.0		48	1.9	2.8	1.0
機能強化型2	47	1.0	1.6	0.0		47	1.3	2.1	0.0
機能強化型以外	372	0.3	0.9	0.0		417	0.4	1.0	0.0
主に精神科	49	0.1	0.3	0.0		56	0.1	0.4	0.0

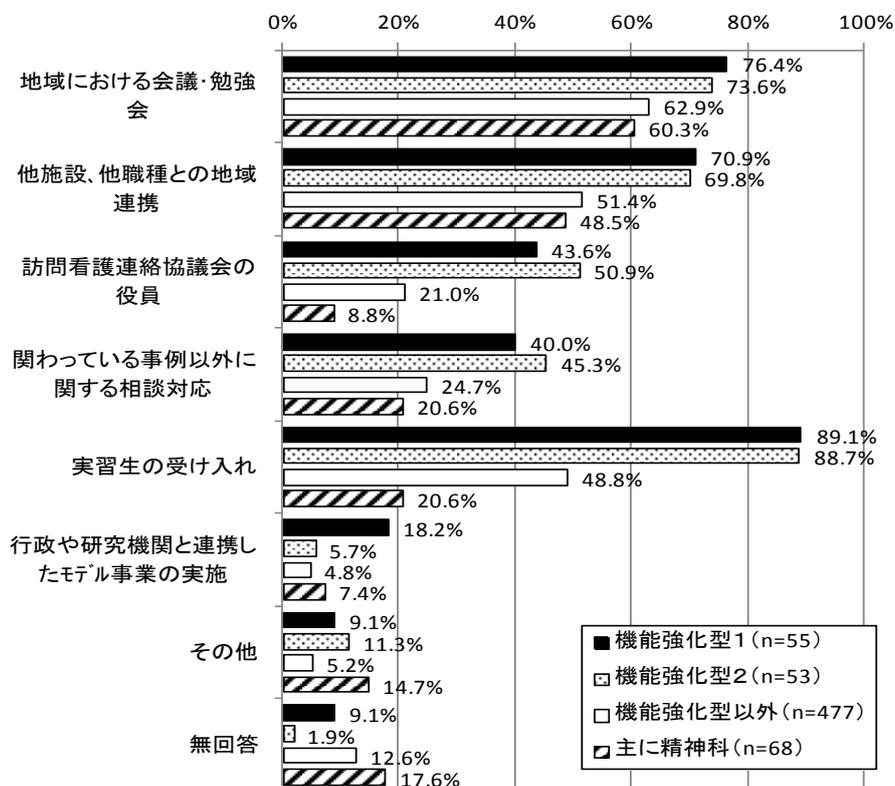
P78 図表 143 1事業所あたり緊急訪問回数：深夜(22時~6時)

単位：回

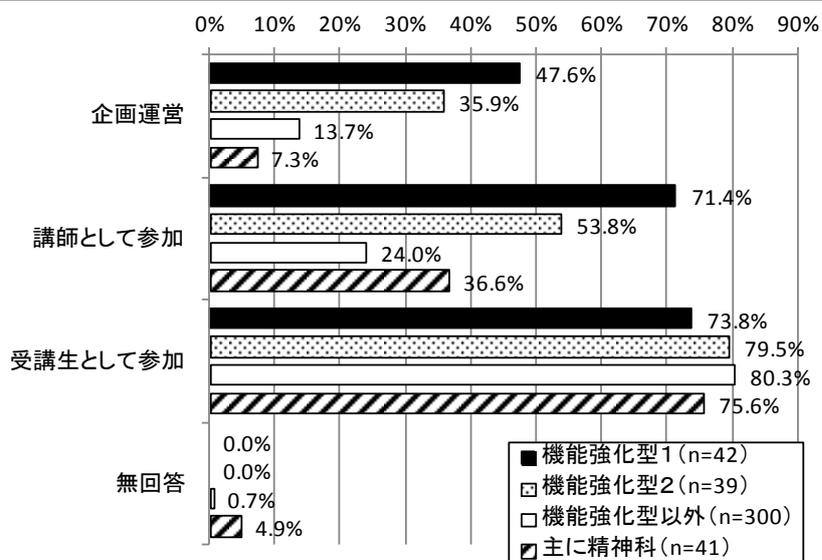
	平成25年9月				→	平成26年9月			
	件数	平均値	標準偏差	中央値		件数	平均値	標準偏差	中央値
機能強化型1	46	1.2	2.9	0.0		48	1.7	2.7	0.0
機能強化型2	47	0.4	1.0	0.0		47	0.6	1.4	0.0
機能強化型以外	372	0.2	0.7	0.0		417	0.2	0.7	0.0
主に精神科	49	0.0	0.3	0.0		56	0.1	0.3	0.0

○ 平成26年4月～9月の6か月間における、地域住民などに対する情報提供や相談、人材育成のための研修として実施したことをみると、「機能強化型1」では「実習生の受け入れ」が89.1%、「地域における会議・勉強会」は76.4%で、「他施設・他職種との地域連携」は70.9%であった。

P86 図表 162 地域住民などに対する情報提供や相談、研修等（複数回答）

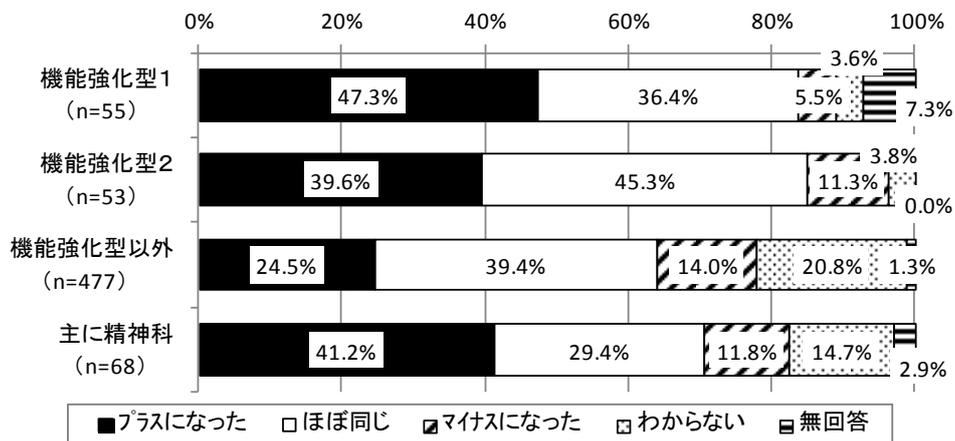


P87 図表 163 （地域における会議・勉強会有の場合）参加方法（複数回答）



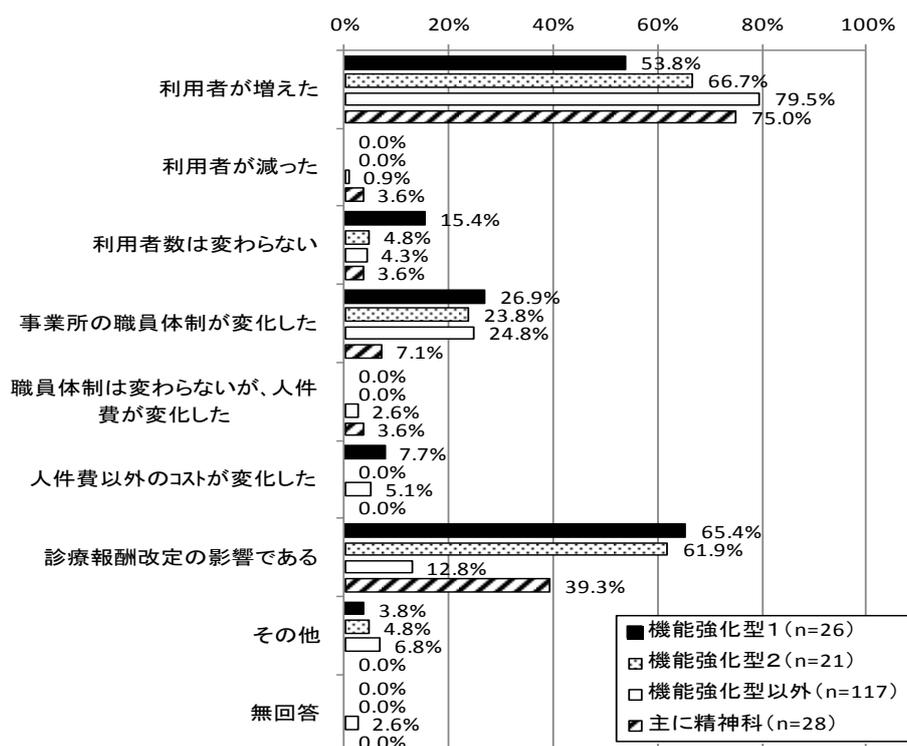
- 報酬改定前後の収支の変化についてみると、「機能強化型 1」では「プラスになった」が47.3%で約半数であった。「機能強化型 2」では「ほぼ同じ」が45.3%、「プラスになった」が39.6%であった。「機能強化型以外」でも「ほぼ同じ」が39.4%で最も多く、「プラスになった」が24.5%であり、「マイナスになった」が14.0%であった。「主に精神科」では「プラスになった」が41.2%であった。

P91 図表 169 報酬改定前後の収支の変化



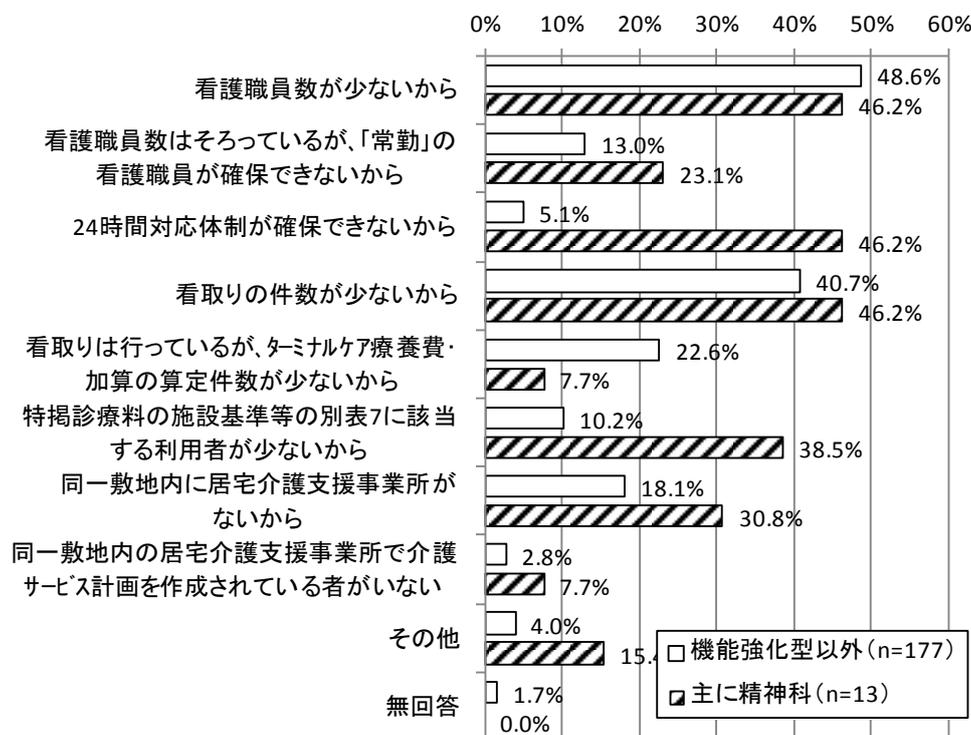
- 報酬改定前後の収支の変化がプラスの場合、その理由をたずねたところ、「機能強化型 1」では「診療報酬改定の影響である」が65.4%、「利用者が増えた」が53.8%で、「事業所の職員体制が変化した」が26.9%であった。

P92 図表 170 (プラスの場合) 報酬改定前と比べての収支が「プラスになった」理由



- 機能強化型の届出をしていない理由についてみると、「機能強化型以外」では「看護職員数が少ないから」が48.6%、「看取りの件数が少ないから」が40.7%で、「看取りは行っているが、ターミナルケア療養費・加算の算定件数が少ないから」が22.6%であった。「主に精神科」では「看護職員数が少ないから」、「24時間対応体制が確保できないから」、「看取りの件数が少ないから」がいずれも46.2%で最も多かった。

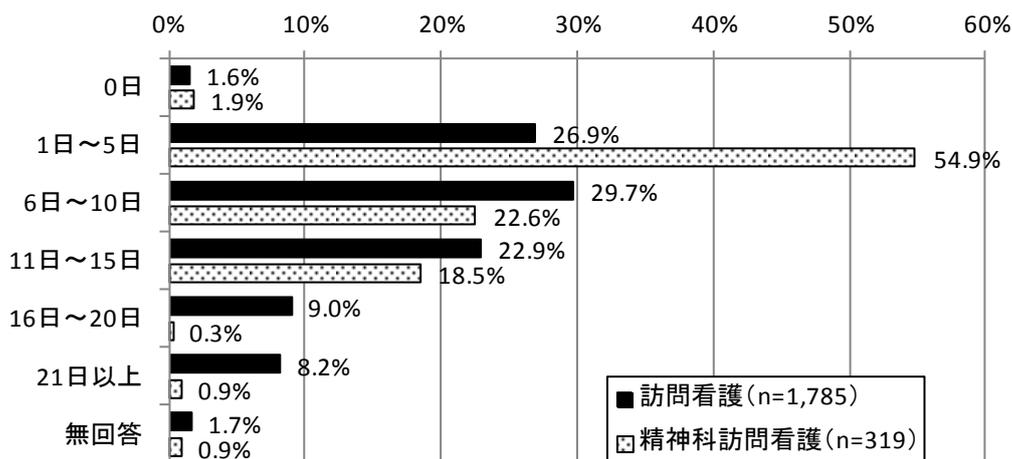
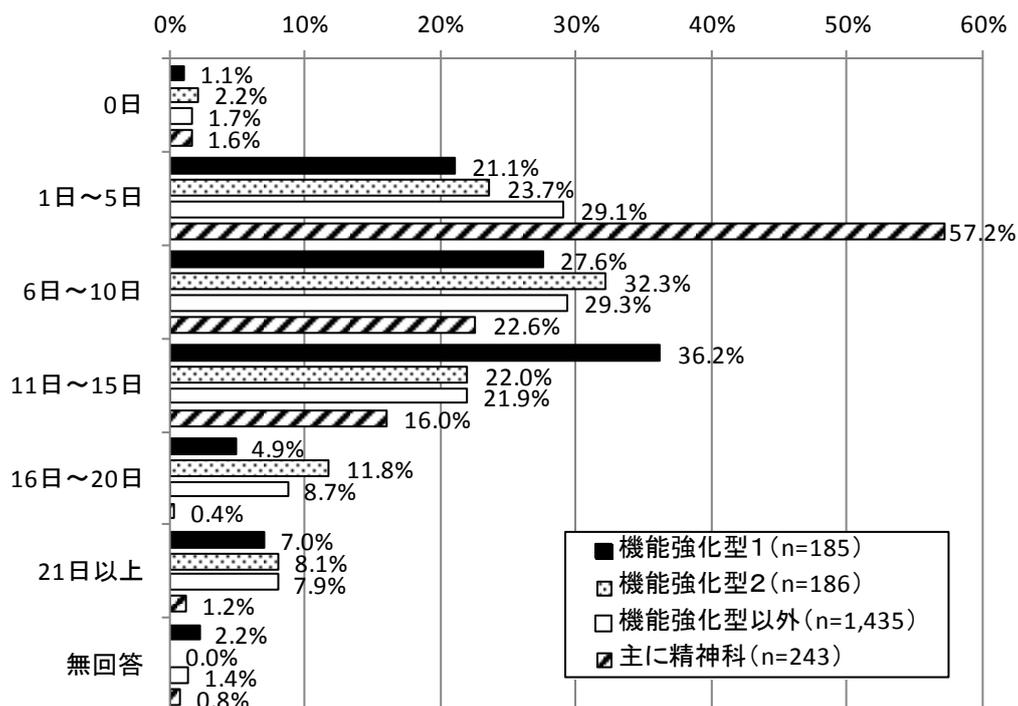
P95 図表 173 機能強化型の届出なしの理由（複数回答）



② 利用者調査

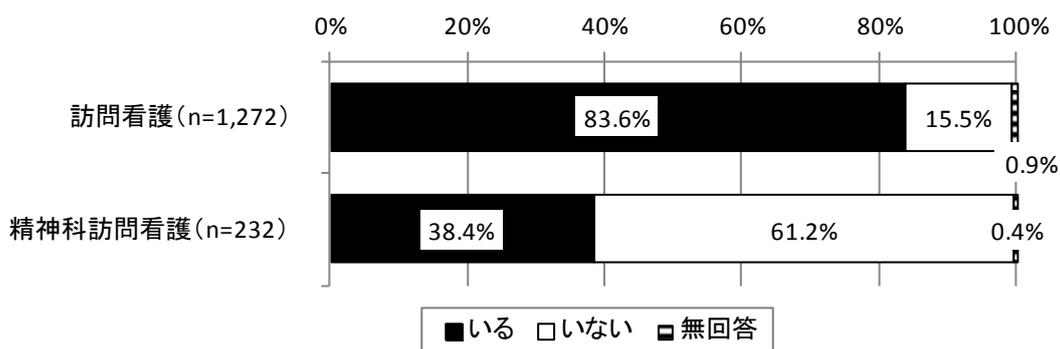
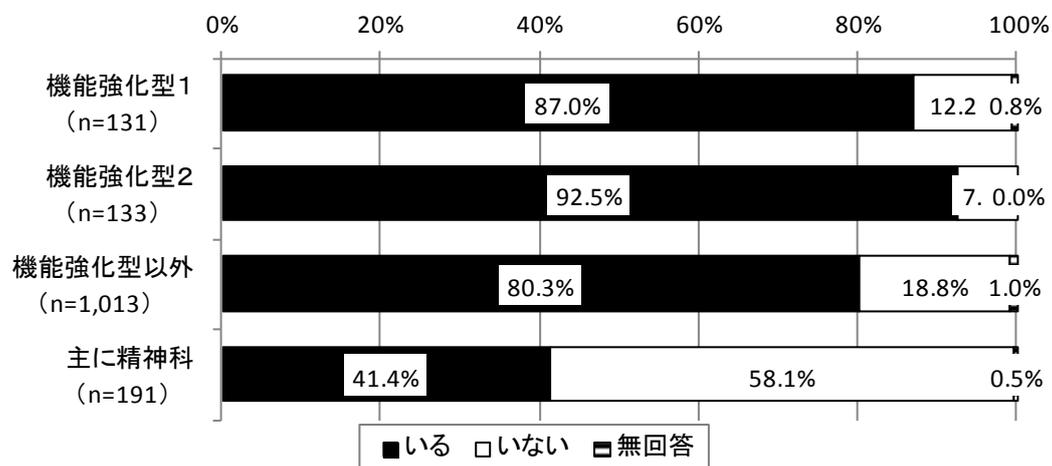
○ 事業所からの訪問日数（平成26年9月1か月間）についてみると、「機能強化型1」では「11日～15日」が36.2%、「機能強化型2」では「6日～10日」が32.3%、「機能強化型以外」では「6日～10日」が29.3%、「主に精神科」では「1日～5日」が57.2%で最も多かった。また、「訪問看護」では「6日～10日」が29.7%、「精神科訪問看護」では「1日～5日」が54.9%で最も多かった。

P118 図表 193 当該事業所からの訪問日数（平成26年9月1か月間）



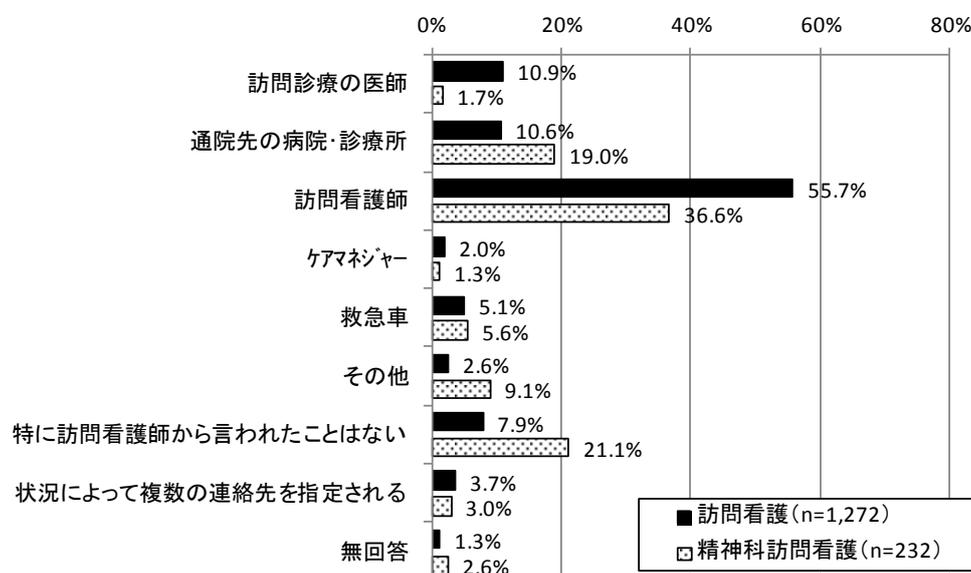
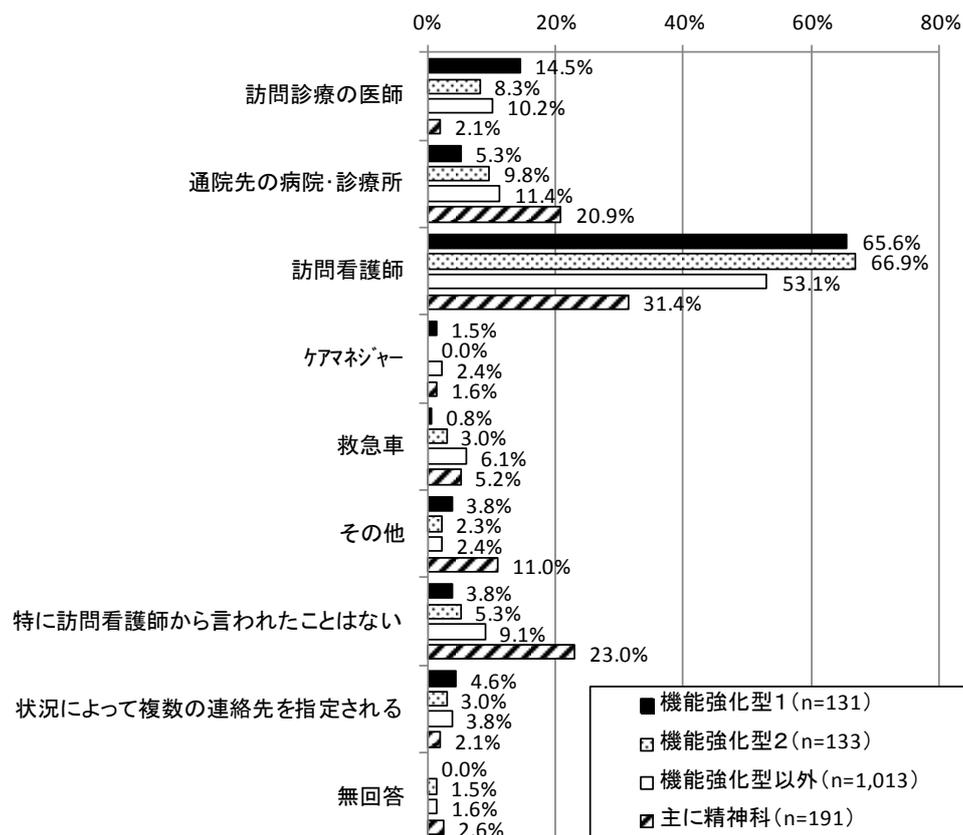
- 同居家族についてみると、「機能強化型1」では「いる」が87.0%、「機能強化型2」では92.5%、「機能強化型以外」では80.3%、「主に精神科」では41.4%であった。また、「訪問看護」では「いる」が83.6%であった。「精神科訪問看護」では「いる」が38.4%、「いない」が61.2%であった。

P152 図表 220 同居家族



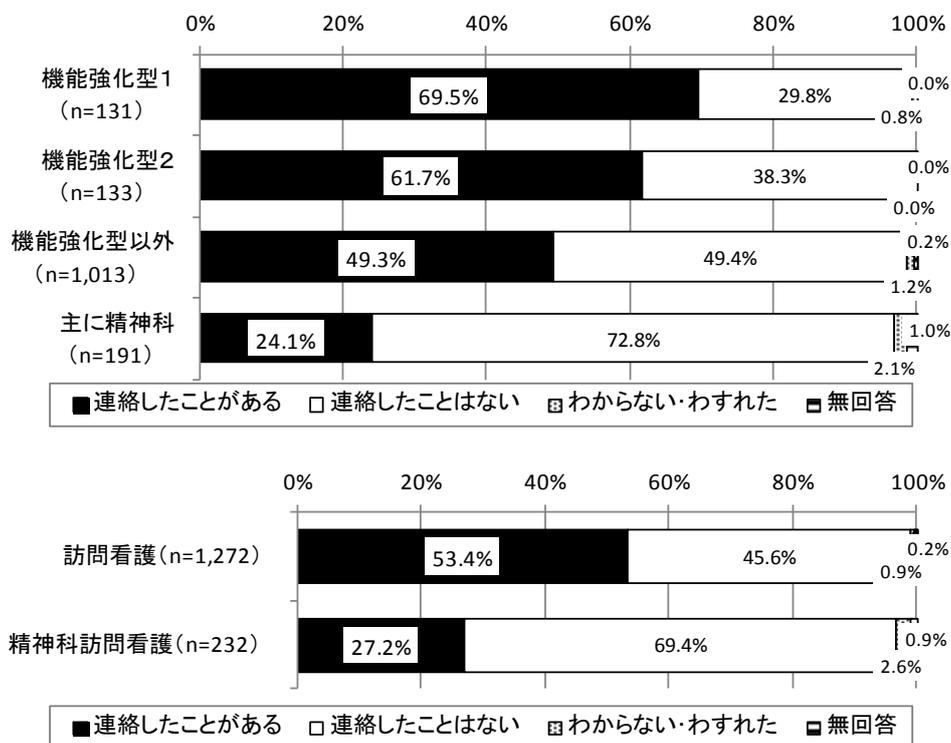
- 夜間や休日に急に具合が悪くなった場合に、まず、誰に連絡するように訪問看護師から言われているかをたずねたところ、「機能強化型 1」では「訪問看護師」が 65.6%で最も多く、次いで「訪問診療の医師」が 14.5%であった。「機能強化型 2」では「訪問看護師」が 66.9%で最も多く、次いで「通院先の病院・診療所」が 9.8%であった。また、「精神科訪問看護」では「訪問看護師」が 36.6%、「特に訪問看護師から言われたことはない」が 21.1%、「通院先の病院・診療所」が 19.0%であった。

P161 図表 227 夜間や休日に急に具合が悪くなった場合に、まず、誰に連絡するように訪問看護師から言われていますか（単数回答）



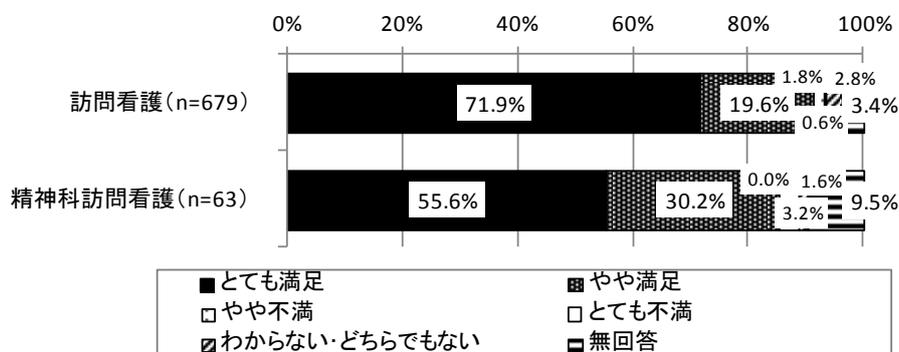
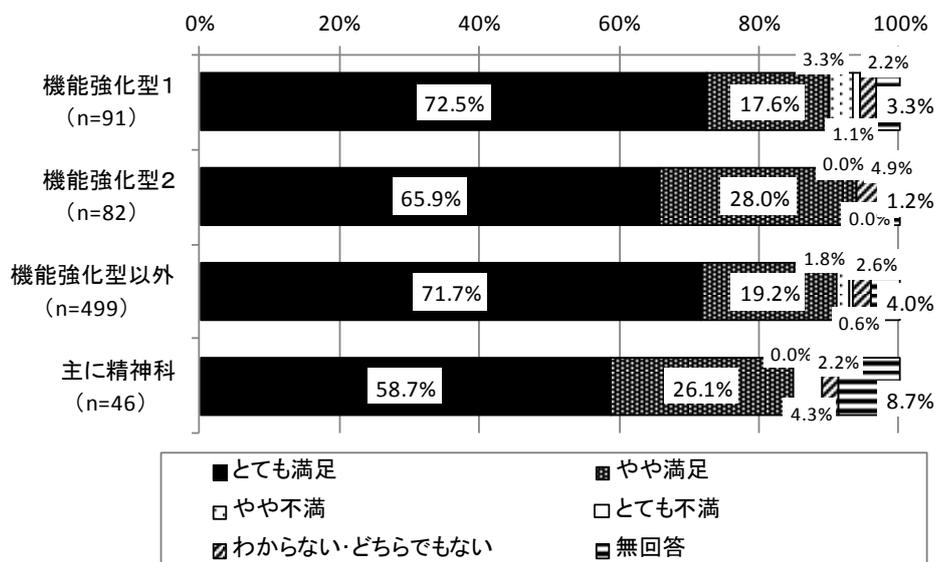
- 訪問看護ステーションへの緊急連絡の経験の有無についてみると、「機能強化型 1」では「連絡したことがある」は 69.5%、「機能強化型 2」では 61.7%、「機能強化型以外」では 49.3%、「主に精神科」では 24.1%であった。また、「訪問看護」では 53.4%、「精神科訪問看護」では 27.2%であった。

P163 図表 228 訪問看護ステーションへの緊急連絡の経験の有無



- 訪問看護ステーションへの緊急連絡の経験がある場合について、緊急対応の満足度をみると、「機能強化型1」では「とても満足」が72.5%、「やや満足」が17.6%であった。「主に精神科」では「とても満足」が58.7%、「やや満足」が26.1%であった。また、「訪問看護」では「とても満足」が71.9%、「やや満足」が19.6%であった。「精神科訪問看護」では「とても満足」が55.6%、「やや満足」が30.2%であった。

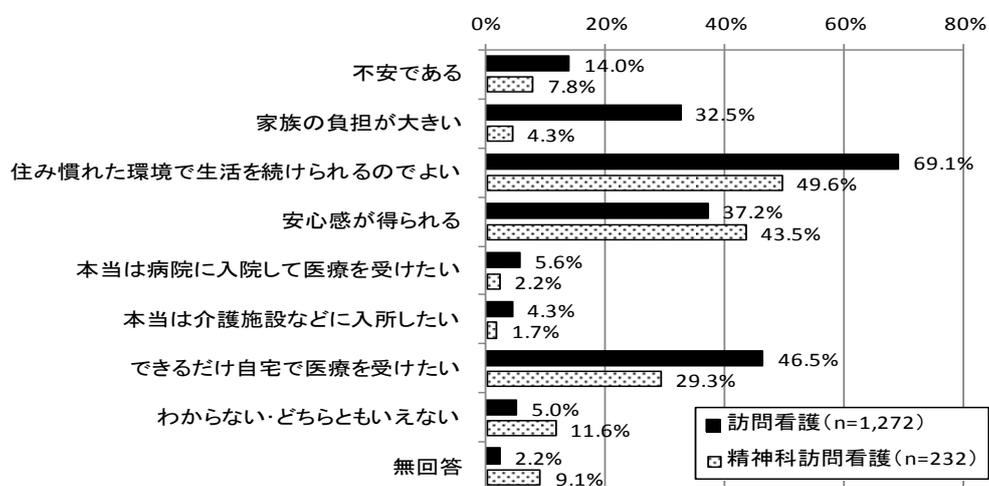
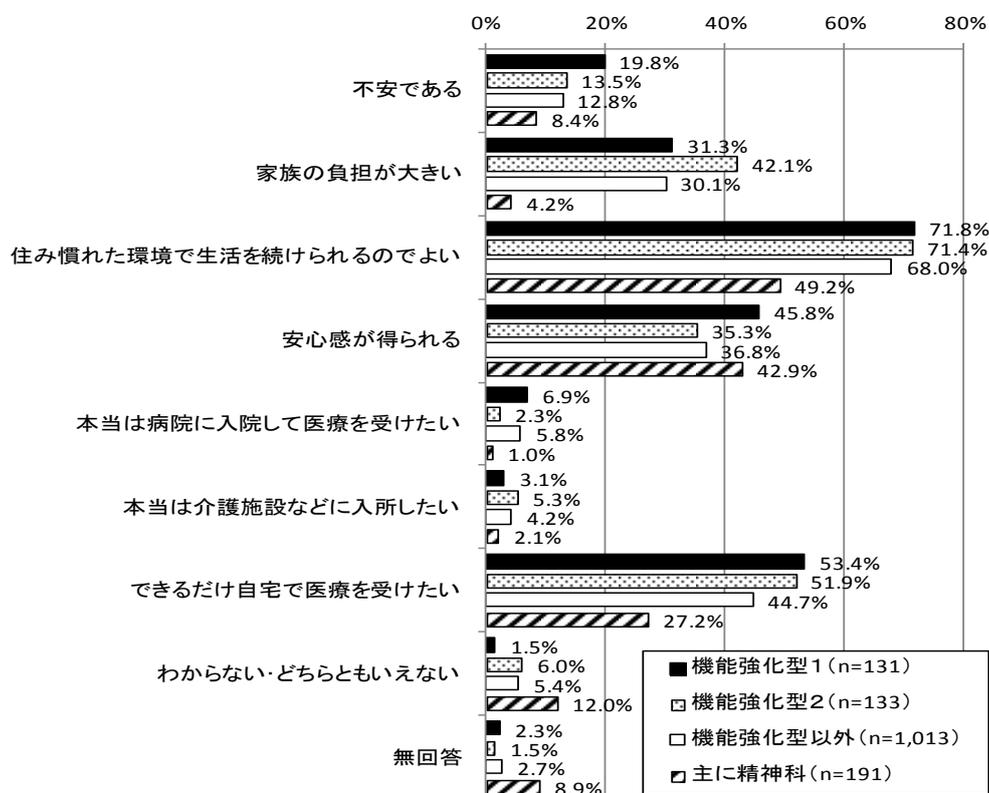
P165 図表 230 緊急対応の満足度



○ 自宅で医療を受けることをどう思うかたずねたところ、「機能強化型 1」では「住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい」が 71.8%、「できるだけ自宅で医療を受けたい」が 53.4%、「安心感が得られる」が 45.8%であった。「機能強化型 2」では「住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい」が71.4%、「できるだけ自宅で医療を受けたい」が51.9%、「家族の負担が大きい」が42.1%であった。

また、「訪問看護」では「住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい」が 69.1%、「できるだけ自宅で医療を受けたい」が46.5%、「安心感が得られる」が37.2%であった。「精神科訪問看護」では「住み慣れた環境で生活を続けられるのでよい」が49.6%、「安心感が得られる」が43.5%、「できるだけ自宅で医療を受けたい」が29.3%であった。

P182 図表 243 自宅で医療を受けることはどう思いますか（複数回答）



【まとめ】

- (ア) 26年改定において創設した機能強化型訪問看護ステーションについて、機能強化型1では約4.5割、機能強化型2では約3割が「事業所の大型化に寄与した」と回答した。
- (イ) 常勤の看護職員数は、26年改定前に比べ「機能強化型1」「機能強化型2」「機能強化型以外」でいずれも増加しており、特に「機能強化型1」では平均1.5人増と最も多く増加がみられた。
- (ウ) 常勤の看護職員数（1事業所あたりの実人数）について、「機能強化型1」の半数以上で看護職員数の増加がみられた。一方、「機能強化型2」「機能強化型以外」では約半数が大きな変化はみられなかった。
- (エ) 退院時共同指導加算の算定状況についてみると、「機能強化型1」で63.6%、「機能強化型2」では60.4%で加算を算定していた。一方、「機能強化型以外」では30.8%、「主に精神科」では16.2%と比較的低い算定状況であった。
- (オ) 1事業所あたりの訪問看護利用者数について、26年改定前に比べ「機能強化型1」では平均9.2人増、「機能強化型2」では平均4.4人増、「機能強化型以外」では平均0.8人増、「機能強化型以外（主に精神科）」では平均7.9人増となっており、特に「機能強化型1」で利用者の増加がみられた。
- (カ) 医療保険と介護保険をあわせた1事業所あたりの訪問回数について、26年改定前に比べ「機能強化型1」では平均64.8回増、「機能強化型2」では平均75.9回増、「機能強化型以外」では平均20.4回増、「機能強化型以外（主に精神科）」では平均45.7回増であり、特に機能強化型で増加がみられた。
- (キ) また、医療保険による訪問回数については、「機能強化型1」では平均24.2回増、「機能強化型2」では平均37.2回増、「機能強化型以外」では平均10.2回増、「機能強化型以外（主に精神科）」では平均66.1回増であり、特に「機能強化型以外（主に精神科）」で増加がみられた。
- (ク) 15歳未満の利用がある事業所は、「機能強化型1」では74.5%、「機能強化型2」では67.9%、「機能強化型以外」では27.7%、「主に精神科」では5.9%であり、機能強化型において15歳未満の利用が多いことが伺える。
- (ケ) また、超重症児の利用がある事業所は、「機能強化型1」では49.1%、「機能強化型2」では39.6%、「機能強化型以外」では13.2%、「主に精神科」では0.0%であり、機能強化型において超重症児の利用が多いことが伺える。
- (コ) 40歳以上の医療保険のみの利用者について要介護度別の利用者数をみると、「機能強化型1」で「要介護1・2・3」が平均11.1人、「要介護4」が平均4.9人、「要介護5」が平均7.1人で最も多かった。
- (サ) 精神科訪問看護届出の状況についてみると、「機能強化型1」では47.3%、「機能強化型2」では26.4%、「機能強化型以外」では28.5%、「主に精神科」では92.6%が届出をしていた。
- (シ) 26年改定において新設した、精神科重症患者早期集中支援管理料を算定する患者に対して24時間体制の他職種チームによる訪問看護体制を評価した精神科重症患者早期集中支援管理連携加算の届出についてみると、「機能強化型1」では29.6%、「機能強化型2」では15.8%、「機能強化型以外」では16.5%、「主に精神科」では18.5%が届出をしていた。
- (ス) 26年改定において新設した、精神科重症患者早期集中支援管理料を算定する患者に対

- する複数回訪問看護を評価した精神科複数回訪問加算の届出についてみると、「機能強化型 1」では37.0%、「機能強化型 2」では21.1%、「機能強化型以外」では25.6%、「主に精神科」では24.6%が届出をしていた。
- (セ) 平成26年4月～9月に在宅で亡くなった、またはターミナルケア実施後24時間以内の入院で亡くなった利用者数は、「機能強化型 1」では平均17.9人、「機能強化型 2」では平均8.3人、「機能強化型以外」では平均3.2人、「主に精神科」では平均0.3人であった。
- (ソ) 土日・祝日における訪問看護の実施状況についてみると、「機能強化型 1」では「土曜日」が90.9%、「日曜日」が83.6%、「祝日」が92.7%と高い割合で実施していた。一方、「機能強化型以外」では「土曜日」が75.9%、「日曜日」が56.4%、「祝日」が70.9%で実施していた。
- (タ) また、早朝・夜間・深夜における訪問看護の実施についてみると、「機能強化型 1」では18.2%、「機能強化型 2」では9.4%、「機能強化型以外」では8.6%、「主に精神科」では13.2%で実施していた。
- (チ) 1事業所あたりの緊急訪問回数についてみると、「機能強化型 1」が夜間が平均1.9回、深夜が平均1.7回と最も多いが、改定前と比べるとほとんど変化はみられなかった。
- (ツ) 地域住民などに対して実施したことをみると、「機能強化型 1・2」では「実習生の受け入れ」が最も多く、次いで「地域における会議・勉強会」「他施設・他職種との地域連携」が多くみられた。また、地域における会議・勉強会を実施している場合、その参加方法についてみると、「機能強化型 1」では「企画運営」「講師として参加」する割合が高く、地域連携に主体的に寄与していることが伺える。
- (テ) 26年改定前後の収支について、「機能強化型 1・2」「機能強化型以外（主に精神科）」の約4～5割、「機能強化型以外」の約3割弱がプラスになったとの回答であった。一方で、マイナスになったと回答したのは「機能強化型 1」で約0.5割、「機能強化型 2」「機能強化型以外」「機能強化型以外（主に精神科）」で約1～1.5割であった。また、収支がプラスになった理由として、「機能強化型 1・2」では「診療報酬改定の影響」「利用者が増えた」が最も多く、機能強化型の設置に一定の効果があったものと考えられる。
- (ト) 機能強化型の届出をしていない理由についてみると、「機能強化型以外」では「看護職員数が少ない」「看取りの件数が少ない」が多く、「機能強化型以外（主に精神科）」では「看護職員数が少ない」「24時間対応体制が確保できない」「看取りの件数が少ない」が多くみられ、特に常勤看護職員の確保が大きな問題となっていることが伺える。
- (ナ) 事業所の1月あたりの訪問日数についてみると、「機能強化型 1」では「11日～15日」が36.2%、「機能強化型 2」では「6日～10日」が32.3%、「機能強化型以外」では「6日～10日」が29.3%、「主に精神科」では「1日～5日」が57.2%で最も多かった。
- (ニ) 同居家族がいる利用者は、「機能強化型 1」では87.0%、「機能強化型 2」では92.5%、「機能強化型以外」では80.3%、「主に精神科」では41.4%であり、精神科で同居家族の割合が低いことが分かる。
- (ヌ) 夜間や休日に急に具合が悪くなった場合に、まず、誰に連絡するように訪問看護師から言われているかをたずねたところ、全ての訪問看護ステーションで「訪問看護師」が最も多く、訪問看護、精神科訪問看護でも同様であった。
- (ネ) 訪問看護ステーションへの緊急連絡したことがある利用者は、「機能強化型 1」では69.5%、「機能強化型 2」では61.7%、「機能強化型以外」では49.3%、「機能強化型以外（主に精神科）」では24.1%であった。また、「訪問看護」では53.4%、「精神科訪問

看護」では27.2%であった。

- (ノ) 訪問看護ステーションへの緊急連絡の経験がある場合について、訪問看護師の対応状況をみると、機能強化型でもそれ以外の施設でも「電話で状況を伝えると来てくれた」が最も多く、次いで「電話で対応方法を教えてくれた」「電話で相談ののってくれ、翌朝に来てくれた」が多かった。緊急対応及び通常利用時の利用者満足度は、機能強化型でもそれ以外の施設でも9割以上が「とても満足」又は「やや満足」と回答しており、高い評価を得ている。
- (ハ) 自宅で医療を受けることについて、利用者の約7割が住み慣れた環境での生活の継続がよいと感じ、約5割程度ができるだけ自宅で医療を受けたい、約4割が安心感が得られるという回答が多かった。一方で、家族の負担が大きい（約3割）、不安である（約1割）という回答もあった。